

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 23日

中施策事業名	公共施設マネジメント推進事業	部課名	行政経営部・公共施設管理課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市内の公共施設（道路・都市施設を除く）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内の公共施設の機能が集約されることで、効率的な施設の維持管理が行われている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	公共施設長寿命化（道路・都市施設を除く）に関すること、公共施設包括管理業務委託導入に関すること、公共施設を管理する各課との連絡調整		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
公共施設適正配置 計画策定の進捗割合	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	100	100	100	0	0
	実績値	100	100				
	単位	%					
個別施設計画策定の 進捗状況	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	100	100	100	0	0
	実績値	100	100				
	単位	%					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				27,071千円	117,375千円	
	a 事業費合計			27,071千円	117,375千円	114,540千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				27,071千円	117,375千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				393 円	1,706 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価【B】 業務内容に対する成果は適正なものであったが、資材費や労務費単価上昇の影響もありコスト縮減には至りませんでした。また、栄小学校をはじめとした、長寿命化改修についても、今後大幅に工事費の上昇が見込まれることから、一旦立ち止まって工事内容等を見直す方針が示された。そのため、一部の設計成果がそのまま工事費予算計上に繋がらなかった。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	公共施設の「縮充」「複合化、共用化」を反映した長寿命化等改修計画（公共施設中期整備プラン）の見直しを行うこと。 建築基準法第12条定期報告に要する点検の調査・検査結果の指摘事項処理や、公共施設包括管理業務委託における統一的な基準による修繕業務などにより保全の迅速化を図ること。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	公共施設包括管理業務のうち、大規模改修計画に対しての劣化診断、LCC算出などの技術支援を活用した、より適正な事業費の算出を行うこと。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 公共施設包括管理事業	内容、理由、時期等 令和7年度に児童館施設を追加することを検討すること。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 23日

中施策事業名	建築物営繕工事事業	部課名	行政経営部・公共施設管理課
		作成者	中野 忠之
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市内の公共施設（道路・都市施設を除く）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	利用者が安全安心に利用できるよう施設を維持する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	公共施設（道路・都市施設を除く）工事の設計監理、実施計画重点事業に関すること、公共施設を管理する各課との連絡調整		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
実施計画重点事業の実施率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	100	100	100	0	0
	実績値	96	100				
	単位	%					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価【A】 入札不調が数件あったものの、事業規模の縮小や繰越を含め概ね予定通りの事業は遂行できた。また、各課の250万円以下の工事については、必要なサポートを行うとともに、急遽対応が必要となった事業についても補正予算等により事業を実施することができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	公共施設包括管理事業は、新規事業でもあるため特に注意して事業管理をしていく。また、小中学校及び保育室においては公共施設包括管理委託により一元的な施設管理を行うが、その他の施設所管課に対しては計画的かつ効果的な施設改善要望、不具合改修要望については事象確認後早急に提示するよう、引き続き実施計画ヒアリング等を通じて積極的に求める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	簡易な不具合事象については、公共施設管理課に対し予算計上を含め調査依頼することなく各自早急に対応できるよう、各施設所管課に対し修繕費や工事費など予算計上することを促す。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等